

第 1 1 回議員定数等検討委員会

次 第

日 時 令和 7 年 1 0 月 6 日
1 0 : 0 0 ~
場 所 議員面会室 1

1 開 会

2 議 事

議員定数、選挙区及び選挙区別議員定数について

3 閉 会

【配付資料】

参考資料〈前回配付資料〉 議員定数等の見直しに係る委員会総括（案）

議員定数等の見直しに係る委員会総括（案）

項目	現行	見直し内容及び総括案
定数	4 8	4 6 「現行どおりとする」という考え方や「総合的に検討結果を踏まえ、その在り方を検討すべき」とする考え方もあった中で、「平成 18 年の定数削減以来、県全体の人口減少が進み、今後も進むことが予想される」ことを念頭にした意見を尊重することとした。
飛び地の選挙区	2	0 「解消する」又は「解消することが望ましい」という考え方に基づいた見直し案が出されたが、大多数が「ゼロ」とする案となっていることを尊重することとした。
選挙区別定数	別添のとおり	別添のとおり
一人区	7	1 「解消する」又は「できる限り解消する」という考え方があったことを尊重することとした。
一票の格差 （最大格差）	2. 3 9	1. 6 3 「2 倍未満とする」、「できる限り 2 倍以内とする」などという考え方があったことを尊重することとした。

（現 行）			（見直し内容及び総括案）		
選挙区		議員数	選挙区		備考
名称	区域		名称	区域	
青森市	青森市	1 0 人	青森市	青森市、東津軽郡	
東津軽郡	東津軽郡	1 人			
弘前市	弘前市、中津軽郡	6 人	弘前市	弘前市、中津軽郡	
三戸郡	三戸郡三戸町、三戸郡五戸町、 三戸郡田子町、三戸郡南部町、 三戸郡階上町 、三戸郡新郷村	3 人	三戸郡	三戸郡三戸町、三戸郡五戸町、 三戸郡田子町、三戸郡南部町、 三戸郡新郷村	・ 「飛び地の選挙区」を解消するという趣旨や、「生活圏」など密接な関わりがあることを尊重し、階上町を合区することとした。 ・ 定数を増やさないという趣旨を尊重し、階上町を合区した後も「選挙区別定数」は8のままとした。
八戸市	八戸市	8 人	八戸市	八戸市、 三戸郡階上町	・ 以上の経緯を踏まえ、「三戸郡選挙区」は階上町を除いた上で「選挙区別定数」は1減の2とした。
黒石市	黒石市	1 人	黒石市	黒石市	・ 各会派で様々な意見が出されたが、この選挙区については、「郡部の事情を踏まえて地域の意見を県政に届けることの重要性や必要性」等を最も尊重した上で合区の在り方を検討した。
南津軽郡	南津軽郡藤崎町、南津軽郡田舎館村	1 人	南津軽郡・北津軽郡	南津軽郡藤崎町、南津軽郡田舎館村、 北津軽郡板柳町、北津軽郡鶴田町	・ 「北津軽郡選挙区」と「南津軽郡選挙区」については、「郡部の事情を踏まえて地域の意見を県政に届けることの重要性や必要性」等から、合区により「一人区」を解消するという趣旨を尊重し、両選挙区を合区し、「選挙区別定数」は2とした。
北津軽郡	北津軽郡板柳町、北津軽郡鶴田町	1 人			・ 以上の経緯を踏まえ、「黒石市選挙区」と「五所川原市選挙区」は隣接する町村と合区すべきところではなかったが、「五所川原市選挙区」については定数削減の趣旨から「選挙区別定数」は3から2とした。
五所川原市	五所川原市、北津軽郡中泊町	3 人	五所川原市	五所川原市、北津軽郡中泊町	
十和田市	十和田市	2 人	十和田市	十和田市	
上北郡	上北郡野辺地町、上北郡七戸町、 上北郡六戸町、上北郡横浜町、 上北郡東北町、上北郡六ヶ所村、 上北郡おいらせ町	4 人	上北郡	上北郡野辺地町、上北郡七戸町、 上北郡六戸町、上北郡横浜町、 上北郡東北町、上北郡六ヶ所村	・ 「一人区」を解消するという趣旨や、「生活圏」など密接な関わりがあることを尊重し、おいらせ町を合区し、「選挙区別定数」は1増の2とした。 ・ 以上の経緯を踏まえ、「上北郡選挙区」はおいらせ町を除いた上で「選挙区別定数」は1減の3とした。
三沢市	三沢市	1 人	三沢市	三沢市、 上北郡おいらせ町	
むつ市	むつ市、下北郡	3 人	むつ市	むつ市、下北郡	
つがる市	つがる市	1 人	つがる市	つがる市、西津軽郡	
西津軽郡	西津軽郡	1 人			
平川市	平川市、南津軽郡大鰐町	2 人	平川市	平川市、南津軽郡大鰐町	
計		4 8 人	計		4 6 人

